

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、平成 24 年 10 月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第 16 条第 2 項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、令和元年度のがん対策に関する施策の実施状況をとりまとめました。

なお、愛知県のがん対策は、愛知県がん対策推進計画に基づき実施しており、令和元年度は、第 3 期愛知県がん対策推進計画（平成 30 年 3 月作成）の 2 年目になります。

I がん対策に関する施策実施状況の概要

1 がんの予防・がん検診による早期発見の推進

(1) がん検診普及啓発

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布し、街頭啓発を行う等、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施しました。

① ピンクリボン街頭啓発キャンペーン

日時：令和元年10月3日（木）午前9時

場所：桜通大津付近

内容：東京海上日動あんしん生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社の職員と共同で通勤途中の県民にがん検診啓発グッズを配布



街頭啓発



乳がんセルフチェックシート

② がん検診啓発ポスターの作成

がん検診受診率 50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10月）に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、がん対策推進連携企業や鉄道会社の協力の下、掲示して周知をしました。

作成部数：1,100部

配布先：連携企業（イオン、ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、鉄道会社、市町村



キャンペーン月間ポスター

③ 啓発グッズの作成

啓発グッズを作成し、がん検診の普及啓発を行いました。

女性向け啓発グッズ（あぶらとり紙）

作成部数：8,000部

配布先：大学、連携企業、PTA等

(2) がん検診の精度管理の向上

① がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催しました。また、平成 28 年度から胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されていることから、がん検診の胃内視鏡検査に従事する医師に対する研修を開催しました。

ア 各種がん検診従事者講習会の開催

大腸がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会に係る従事者講習会を各 1 回ずつ開催しました。各講習会において、検診の技術的指導と愛知県におけるがん検診の精度管理の取組についての講義を行いました。

なお、令和 2 年 3 月に開催を予定しておりました胃がん検診従事者講習会と細胞診従事者講習会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を中止しました。

イ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催

開催日：令和元年 12 月 1 日（日）

参加者：75 名

対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に従事する医師または市町村がん検診担当者

内容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策に係る研修会を実施。なお、先進市である浜松市の取組も講義。

② がん検診精度管理委員会の開催

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、専門家で構成する委員会での分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施しました。

ア 乳がん検診精度管理委員会 開催日：令和元年 12 月 2 日（月）

イ 胃がん・大腸がん検診精度管理委員会 開催日：令和元年 12 月 4 日（水）

ウ 肺がん検診精度管理委員会 開催日：令和元年 12 月 19 日（木）

エ 子宮がん検診精度管理委員会 開催日：令和元年 12 月 26 日（木）

2 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

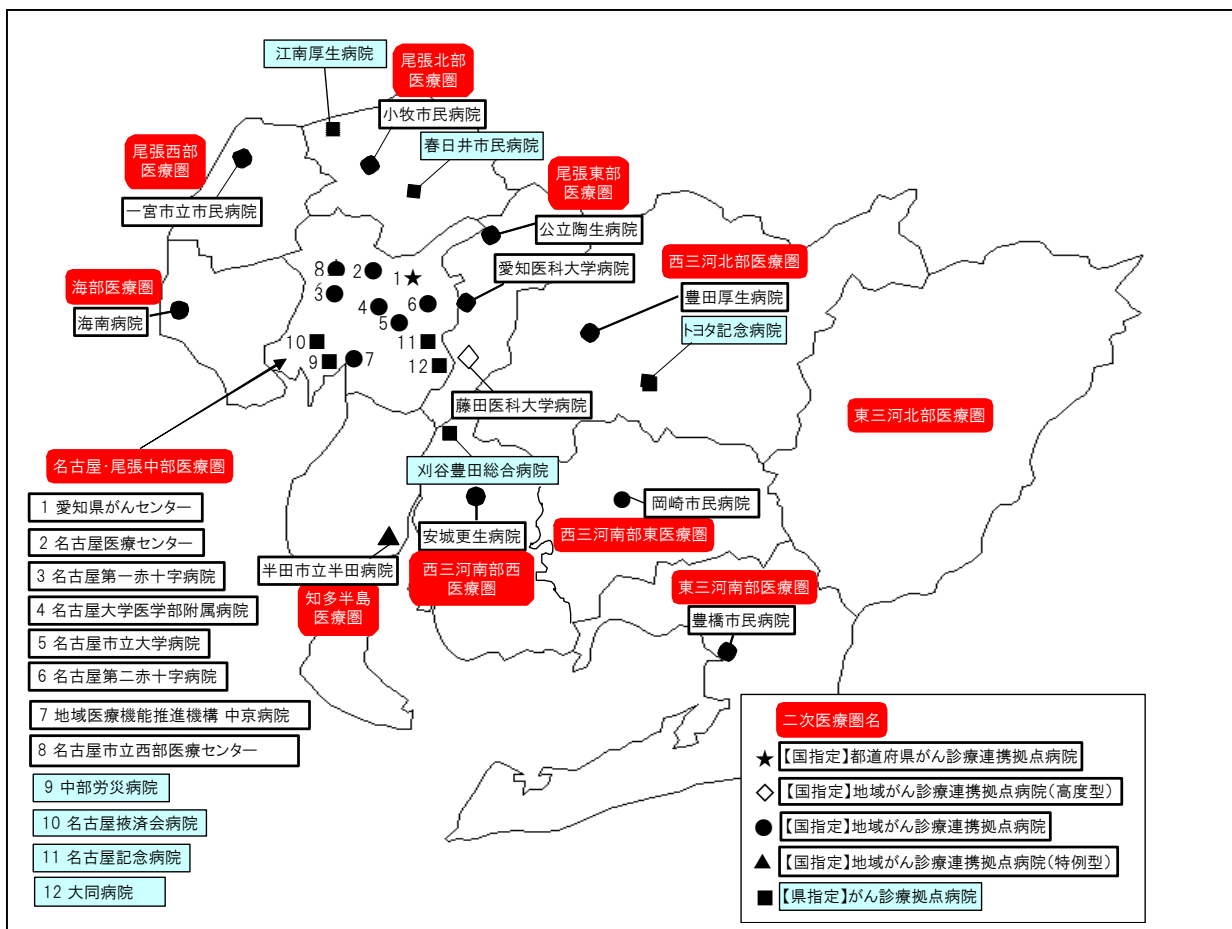
(1) がん治療の推進

① がん診療連携拠点病院等の指定

愛知県では、国が指定する「がん診療連携拠点病院」と県が指定する「がん診療拠点病院」を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っています。

令和2年4月1日現在 がん診療連携拠点病院（国指定）19病院
がん診療拠点病院（県指定）8病院

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（令和2年4月1日現在）】



拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況については、国指定の拠点病院は平成27年度から、県指定の拠点病院は平成28年度から毎年ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明

- ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、薬物療法等の実績）
- ・愛知県がん対策推進計画において目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

② がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っています。

③ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を実施し、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：26 病院（開催回数：32 回）

受講者：687 名

④ 陽子線治療の講演会の開催

痛みがなく、身体への負担が少ない、放射線治療の選択肢の一つとして注目される陽子線治療について、名古屋陽子線治療センターの医師等を講師に招き、県民に広く周知するため講演会を実施しました。

開催日：令和2年2月23日（日）

場 所：岡崎商工会議所

対象者：一般県民

参加者：12 名

3 子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

（1） がん教育の充実支援のための取組

① がん専門医等による中学生向けのモデル講座の開催

県教育委員会を支援するため、中学生ががんに対する正しい知識等を学べるよう、応募のあった4校において、医師によるモデル講座を実施し、がんの罹患、死亡等の現状、がんの原因、生活習慣とがん、がん予防、早期発見、治療についての知識を伝えました。また、生徒から家族に内容が伝わるよう啓発物を配布しました。

<第1回>

場 所：大口町立大口中学校

日 時：令和元年10月18日（金）

参加者：217名

<第2回>

場 所：安城市立安城南中学校

日 時：令和元年11月8日（金）

参加者：264名

<第3回>

場 所：あま市立七宝北中学校

日 時：令和元年11月25日（月）

参加者：159名

<第4回>

場 所：田原市立田原中学校

日 時：令和元年12月2日（月）

参加者：185名

※管内の教員や県保健所職員、市町村保健センター職員等も参加



田原市立田原中学校

② **がん教育外部講師リストの作成と外部講師向け研修会の開催**

がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、外部講師の活用が重要とされていることから、がん診療連携拠点病院及び愛知県がん診療拠点病院の協力の下、がん教育外部講師リストを作成し愛知県教育委員会及び名古屋市健康福祉局に提供しました。

また、がん教育外部講師を対象に、がん教育を実施する上での留意事項や効果的な進め方に関する研修会を実施しました。

開催日：令和2年1月22日（水）

場 所：愛知県がんセンター 国際医学交流センター

参加者：91名

内 容：外部講師によるがん教育に期待されること、がん教育モデル授業、講義を行う上で留意すべきこと

③ **中学生向け「がん教育リーフレット」の県ホームページへの掲載**

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

(2) 女性に特有のがんに係るがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体と連携した講演会の開催による啓発活動や、女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施しました。

① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催

開催大学：名古屋文理大学

開催日：令和元年 7 月 8 日（月）

参加者：学生、教職員等 69 名

② P T A 会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布

③ 女性が活用しやすい啓発資材として新たにあぶらとり紙を作成し、上記講演会や街頭啓発等で配布

④ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報をホームページに掲載

掲載医療機関数（令和元年 6 月現在）：216

⑤ 県ホームページ掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

(3) 小児がん対策

小児がん患者の就学(復学)支援のため、がん診療連携拠点病院等の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員等による情報交換や事例検討を行うため、病気療養児の就学支援に関する研修会を開催しました。

開催日：令和元年 8 月 9 日（金）

場 所：愛知県産業労働センターウイंकあいち

講 師：大府特別支援学校教諭、小児科医

参加者：29 名

(4) 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

① 働く世代のがん対策講演会の開催

企業との連携による講演会（企業名：株式会社トーエネック）

開催日：令和元年 9 月 3 日（火）、6 日（金）

参加者：従業員 296 名

内 容：がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとしたがん専門医やがん治療経験者による講演

② 「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図りました。

開 催 日：令和元年 12 月 24 日（火）

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県（労働局、保健医療局）、名古屋市等

事 務 局：愛知労働局労働基準部健康課

4 みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現

(1) がん患者・家族に対する相談支援

① ピア・サポーター養成事業

ピア・サポート活動を周知するための講演会と、ピア・サポート活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催しました。

委託先：NPO 法人ミーネット（企画コンペにより選定）

ア 講演会

開催日：令和元年 9 月 29 日（日）

参加者：156 名

場 所：栄ガスビル

内 容：緩和ケア医やがん治療経験者による講演、ピア・サポート活動の紹介



イ ピア・サポーター養成研修（計4回）

開催日：令和元年11月16日（土）、11月17日（日）、12月14日（土）、
令和2年1月25日（土）

修了者：38名

場 所：国際デザインセンター

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートの
ルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談等

② がん患者・家族に関する電話相談

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団
体に委託して実施しました。

ア 電話相談事業

市町村に広報掲載を依頼する等、県民に事業を広く周知

実施日数：120日

利用者数：319名

（前年度：実施日数60日、利用実績254名）

（2）がん患者・家族に対する情報提供

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめ
た「がん患者サポートブック」を毎年作成するとともに、簡易版のリーフレットを作
成し、県内の医療機関や関係団体を通じてがん患者・家族に配布しました。

① あいちのがんサポートブック（A5版）

発行時期：令和元年8月

作成部数10,000部

② リーフレット（A4版、4ページ）

発行時期：令和元年8月

作成部数：20,000部



サポートブック

(3) がん罹患状況等の把握・分析

がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法第 111 号）に基づき、がんの診断・治療に関する情報を医療機関から収集することで県民のがん罹患状況を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、集計結果を医療機関や県民に情報提供しました。

① 愛知県悪性新生物患者登録事業（全国がん登録事業）

医療機関から提出された届出情報について全国がん登録システムを用い審査・及び突合・整理を行いました。

また、平成 28 年分のがん罹患データを集計し結果を冊子「愛知県のがん統計」にまとめ関係機関に配布するとともに、インターネットで公表しました。平成 28 年に愛知県在住で新たになんと診断された数は 49,075 件（延べ件数：男性 28,363 件、女性 20,711 件、性別不詳 1 件）となりました。

② 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

全国がん登録情報の利用申請があり、情報提供の可否について審議するため愛知県がん登録情報利用等審議会を開催しました。

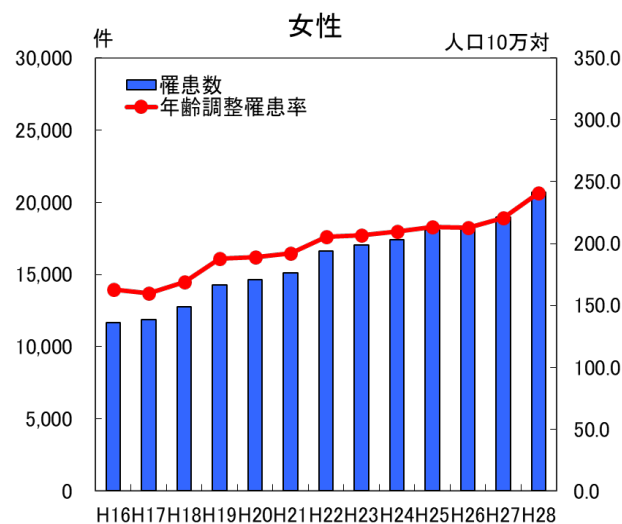
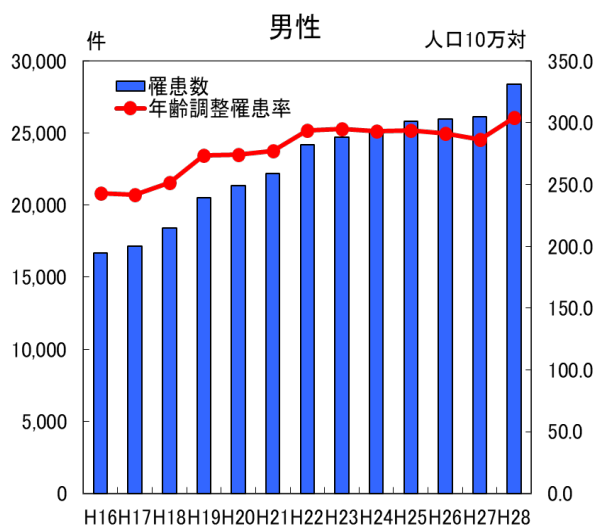
開催日：令和元年 9 月 12 日（木）

申請数：2 件

結果：2 件とも情報提供可

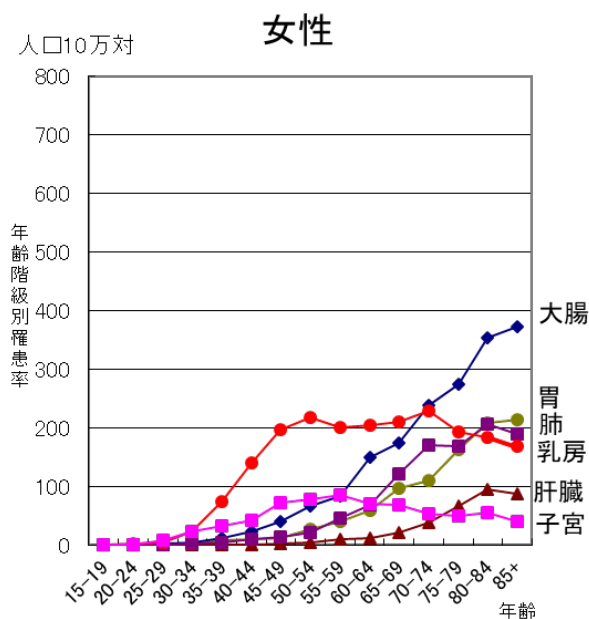
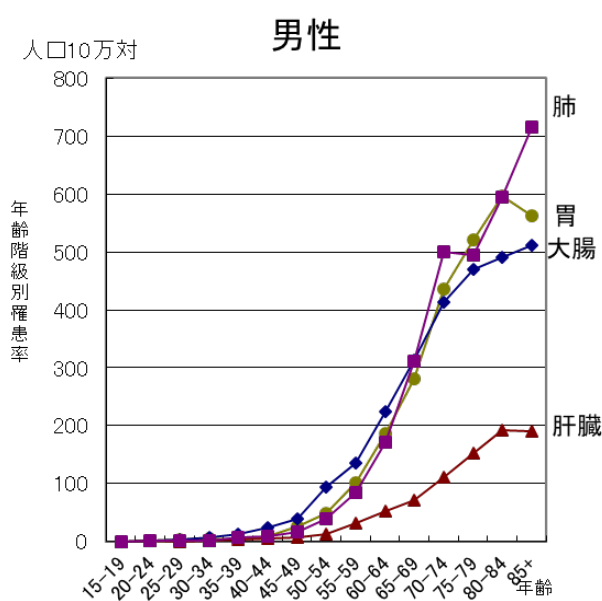
■がん罹患数・罹患率の推移（平成16年から平成28年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年、増加傾向が鈍化していましたが、平成28年は前年度の一割増しになっています。これは平成28年に、がん登録が地域がん登録から全国がん登録に切り替わり、病院に届出義務が課されたため届出数が増加し、罹患数が上昇したことが要因と考えられます。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対、平成28年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では大腸がんが40-64歳の各年齢階級で部位別罹患率の第1位となっており、80歳以上では肺がんが第1位となっています。女性では乳がんが30-69歳の各年齢階級で部位別罹患率の第1位となっており、70歳以上では大腸がんが第1位となっています。



II がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、条例に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画」の目標達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催し、県当局から令和元年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、ご意見をいただきました。

○ 開催日

令和2年2月10日（月） 午前10時～正午

○ 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
名古屋大学医学部附属病院化学療法部 教授	安藤 雄一
がん治療体験者	加藤 那津
愛知県がんセンター病院 副院長兼看護部長	亀島 里美
一般社団法人愛知県歯科医師会 副会長	梶村 豊彦
愛知県がんセンター 総長	高橋 隆
愛知県小中学校長会 庶務理事	高橋 央樹
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 教授	高橋 義行
公益社団法人愛知県医師会 理事	田那村 収
小牧市健康福祉部保健センター 所長	西島 宏之
愛知県がんセンター病院 院長	丹羽 康正
NPO法人ミーネット 理事長	花井 美紀
藤田医科大学医学部放射線腫瘍科 教授	林 真也
愛知県がんセンター病院 副院長兼呼吸器内科部長	樋田 豊明
愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野長	松尾 恵太郎
衣浦東部保健所長	丸山 晋二
愛知県中小企業団体中央会 事務局次長兼総務部長	水越 昭雄
東郷町こども健康部健康推進課長	森本 美香